

2024年度活動概要

東アジア英語教育研究会

2024年度の「東アジア英語教育研究会」は、一部 Zoom を使用したオンライン研究会を行った 2023 年度の研究会とは異なり、すべて対面形式で実施した。会場は 3 つの大学のご協力を得て、それぞれの設備を使用させていただいた。ここで改めて中村学園大学、西南学院大学、福岡工業大学に感謝申し上げたいと思う。

これまでオンライン研究会と対面式の研究会を実施して一番異なると感じる点は、対面式の方が各研究発表後の生きた質疑応答がより多く観られる点である。これは各発話者の熱量が直に伝わりやすいからなのかもしれない。しかし、オンライン研究会は移動（宿泊）のための経費や時間や労力が大幅にカットされるため、より多くの参加者が見込める場合もある。この点は研究会を主催する側としては今後も思案を要する点なのかもしれない。

2024 年度は夏の行事として過去 3 年間実施してきた他 SIG との共催研究会は、マンネリ化を避けて一旦休止とし、2025 年度に向けて新たな企画を目下思案中である。次年度の報告書はより充実したものとなる予定である。

東アジア英語教育研究会の研究領域は初期の韓国・中国・台湾の東アジア英語教育から徐々に広がりを見せ、現在では広く英語教育一般も受け入れている。また、研究発表者も大学での教育関係者だけでなく、大学院生や教育関連企業からも参加が認められ、柔軟で開かれた研究会となっている。